

想定した経営類型

飼料用米

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
飼料用米	人	飼料用米(専用品種)	a 400	(1)土地利用型作物の複合経営 (2)作業の一部は委託
	2	合計	400	
		経営耕地面積	水田8ha(自作地4ha、借入地4ha)	
経営目標	1 農業総収入	5,040 千円	4 1日当たり農業所得	20,655 円
	2 農業経営費	3,673 千円	5 1人当たり年間労働時間	265 時間
	3 農業所得	1,367 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	機械倉庫	1	軽量鉄骨 120㎡	1	千円 11,341	年 24	千円 473
	計				11,341		473
農機具	トラクター	1	33PS キャビン仕様	1	3,002	7	214
	ロータリー	1	作業幅160cm	1	503	7	36
	代かきハロー	1	作業幅240cm	1	488	7	35
	ブロードキャスト	1	ホツパ容量200L	1	319	7	23
	育苗用播種機	1	200箱/時間	1	276	7	20
	田植機	1	5条(高密度播種・側条施肥)	1	1,754	7	125
	自脱型コンバイン	1	4条刈り 48PS	1	6,375	7	455
	トラック	1	2トン	1	3,756	5	376
	草刈り機	2	背負式	1	100	7	7
計					16,572		1,291

3. 技術体系

技術体系(飼料用稲専用品種 4ha)

作業の種類	栽培技術		作業技術				技術の重要事項	
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		使用資材
品種の選定	①種子注文				0.00	0.00		専用品種を使用する 播種量は主食用よりやや少な めにする
種子の予措	①比重選 ②種子消毒 ③浸種 ④催芽	5中 5中 5中～下 5下	比重計	1	0.20	0.20	食塩 種子消毒剤	食用品種に準拠。休眠が深い 品種があるので浸種は十分行う 催芽はハト胸状態までとする。
施肥	①土壌改良 資材施用	6上	トラクター プロトキャスト	2	0.10	0.20	土壌改良資 材	施肥基準参照
育苗	①床土準備 ②播種 ③緑化 ④硬化 ⑤灌水他 ⑥箱施薬	5下 6上 6中 5下～6中 移植前	播種機 育苗シート	2	1.50	3.00	高密度播種 育苗箱 稚苗:10	PH4.5～5.5調整の市販品を使用。 昼間の高温、夜間の低温に注 意し、夕方の灌水は避ける。
耕起・整地	①耕起	6上	ロータリー	1	0.50	0.50		
	①代掻き (荒代)	6上～中	水田ハロー	1	0.50	0.50		
	②代掻き (植代)	6上～中	水田ハロー	1	0.50	0.50		
移植・施肥・除草	①田植え同時 処理	6中	田植機 (側条施肥)	2	0.50	1.00		食用品種より多めに施肥 緩効性肥料を側条施肥
病虫害防除	①農薬散布	8上			0.00	0.00		無人ヘリ・ドローンへの委託防除 「稲」に登録ある農薬を用い、農薬 使用基準を準拠。 出穂期以降に農薬を散布を行う場 合、糶摺りをして給与する。 糶米のまま、若しくは糶穀を含めて 給与する場合は出穂期以降の農薬 散布を行わないことを原則とする。
	②農薬散布	8下			0.00	0.00		
	③農薬散布	9上			0.00	0.00		
管理(水・畦畔)	①間断灌水 ②中干し ③落水 ④畦草刈	7上～9下 7下～8上 10上	トラック 草刈り機	1	6.00	6.00		食用品種に準拠。
収穫	①刈取り	10中～下	自脱型コンバイン	1	0.67	0.67		混入を防止するため、清掃を徹 底する
	②運搬		トラック	1	0.67	0.67		
乾燥・調整	①乾燥調製	10中～下	乾燥機 糶摺機		0.00	0.00		委託
計					11.14	13.24		

